

**技術開発事例****共同研究 光技術を応用した商品のマーケティング戦略**

【共同研究先】 株式会社 アイケーディー

**■ 目的**

光技術を使った独自商品を普及促進することで、脱下請けを目指す。これまで培ってきた生産財(受注型製品)とは違った戦略が必要で、不特定多数を想定したユーザーの好みや商品魅力の定義を研究しました。

**■ 結果**

- 特許検索：「稼動手段を用いた可変情報用表示装置」モータ制御：155件、内訳：通信34件、サイン・印刷23件、アメニティ16件、輸送13件、時計6件、自販機3件、他60件
- 販売戦略：サインや広告の競合調査、光技術（CCFL、LED）を応用した商品の動向調査、他分野への応用調査（光るディスプレイ台、デジカメ表示装置等）
- 納入実績：50台（家電製造工場、クリニック、飲食店）
- 新聞掲載：茨城 2007. 5. 17 「広告宣伝用案内板、発光ダイオード採用へ」



商品使用例（家電生産工場）



商品使用例（歯科）

基礎となった事業 平成19年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）

担当部門 細技術部門 主任研究員 佐藤茂 tel : 0296-33-4154